

# 『武家の古都・鎌倉』世界文化遺産に推薦 源頼朝が開いた武家政権発祥の地

日本政府からユネスコに、鎌倉の世界文化遺産に向けて推薦書が提出されており、平成25年には登録の予定です。あなたも日本を代表する文化遺産を知り、「武家の古都」を訪れて、鎌倉の世界遺産登録を応援してください。

## 『武家の古都・鎌倉』の文化的価値とは

12世紀末、源頼朝の率いる武家が政権を樹立し、貴族が支配する古代社会から、武家が支配する中世・近世へと続く大きな変革をもたらしました。「武家の古都・鎌倉」は、武家が新たにつくりだした政治支配体制の中から、独自の「武家支配」を生み出した場所です。

武家は、要害的地形をなす山の懐にある谷戸を切り開き、寺院や武家屋敷を要所に配置し、政権支配と防御の強化を図りました。古代から中世への時代の大きな転換期にあって、山と一体になり地形的環境を生かした政権所在地の形態が「武家の古都・鎌倉」です。



左下の図の赤い線で囲まれた地域が、世界遺産に推薦されている場所です。鎌倉時代の「古都・鎌倉」の範囲は、四境が東は六浦、西は片瀬川、南は小坪、北は山内といわれました。世界遺産の場所も鎌倉市と横浜市の称名寺や逗子市の名越切通等が含まれ、神奈川県と3市が連携して登録を推進しています。鎌倉で育まれた武家文化は現代につながっています。鎌倉の歴史と文化の魅力を後世に守り伝えましょう。

- 国重文……国指定重要文化財
- 国史跡……国指定史跡
- 国名勝……国指定名勝

## 日本の文化遺産で、初めて古都保存法を適用

鎌倉は、昭和40年代の乱開発から歴史的風土を守るための法律「古都保存法」制定のきっかけを作りました。世界遺産登録でも、従来のように、文化財保護法の史跡指定地だけでなく、古都保存法で指定された歴史的風土特別保存地区を含めて推薦されています。人々が800年の歴史のなかで守り続けてきた文化財と歴史的環境を世界遺産にしようとしているのです。

左下の図の赤い線で囲まれた地域が、世界遺産に推薦されている場所です。鎌倉時代の「古都・鎌倉」の範囲は、四境が東は六浦、西は片瀬川、南は小坪、北は山内といわれました。

## 神社

### 1 鶴岡八幡宮

鎌倉幕府を樹立した源頼朝が現在地に移し、武家政権の正当性を示す神として崇められるとともに、政治・儀礼の舞台としても重要な場所でした。参道の若宮大路(国史跡)と共に政権都市鎌倉の中心となり、境内の上宮・若宮社などは国重文です。



鶴岡八幡宮

### 2 荏柄天神社

武家政権を守護する神社で、武家の誓約や学問・文芸等に関わる信仰で、武家の崇敬を集めました。本殿は、鶴岡八幡宮若宮の旧社殿を移築したもので、鎌倉時代の神社建築物として貴重なもので、国重文です。



荏柄天神社本殿

## 寺院

### 3 建長寺

北条時頼が中国の僧蘭溪道隆を招いて創建した我が国最初の禅宗専門道場です。当時の中国文化受容の最大の拠点として、武家文化の成立と発展に大きく貢献しました。境内の山門・仏殿・法堂・唐門・昭堂・大覚禪師(蘭溪道隆)塔は国重文、庭園は国名勝です。(昭堂・大覚禪師塔は非公開です)



建長寺境内

### 4 円覚寺

北条時宗がモンゴル襲来の戦没者を敵味方なく供養するため、中国の僧無学祖元を招いて創建した禅宗寺院です。建長寺と並んで武家文化発展の拠点となりました。境内の禅宗様建築を代表する舍利殿は国宝で、庭園は国名勝です。

### 6 浄光明寺

北条時頼と長時により創建された鎌倉の仏教教学研究の中心的寺院の一つで、武家の精神修養や学問・教養の取得の場となりました。『浄光明寺敷地絵図』(国重文)に示されるような中世の面影をよく残しています。境内には、鎌倉歌壇を指導して武家文化の発展に貢献した冷泉為相の墓があります。

### 7 鎌倉大仏

鎌倉幕府と民衆の安寧を願う守護仏として、武家政権の主導で民衆の協力も得て造立されました。高度な鑄造技術で造られ、造形の遅しく力強い美しさは、武家文化を代表する国宝です。発掘調査で大仏殿や鑄造過程の遺構が確認されています。



鎌倉大仏

### 5 寿福寺

源頼朝の父源義朝の館跡に、北条政子が、わが国に南宋(中国)から禅宗と茶を伝えた明庵栄西を招いて建立した、鎌倉最初の禅宗寺院です。

### 11 称名寺

※横浜市金沢区

北条実時が鎌倉の外港の六浦に建立し、鎌倉の東の要衝における重要な拠点となった寺院です。発掘調査で遺構が確認されて復元された浄土庭園があります。武家文化で名高い「金沢文庫」の多数の文化財は、称名寺に伝来しました。



称名寺

## 寺院跡

### 12 永福寺跡

源頼朝が奥州藤原氏を滅ぼした後、敵の戦没者を供養して建てた寺院の跡です。発掘調査により三堂が横に並び、そこから釣殿が前に出て苑池に面する浄土庭園を持つ壮大な寺院の遺構が確認され、整備事業が進められています。



永福寺跡(写真は発掘調査時)

### 13 法華堂跡

鎌倉幕府の創始者源頼朝と、武家政権発展の礎を築いた北条義時の慰霊を行った墓堂(法華堂)の跡で、頼朝法華堂跡には頼朝墓と伝わる石塔があり、義時法華堂跡は発掘調査で遺構が確認されています。

### 14 東勝寺跡

北条泰時建立という北条得宗家の氏寺の跡で、北条一族がここで自刃し、鎌倉幕府滅亡の地となりました。発掘調査で、寺院の遺構が確認されています。

## 切通

### 17 朝夷奈切通

北条泰時により開削され、鎌倉とその外港の六浦を結ぶ交通の要衝で、防衛の役割も果たし、他の切通と同様に中世のやぐら群や切岸・平地(削平地)・掘切などと、納骨堂跡があります。

### 18 名越切通

鎌倉と三浦半島を結ぶ交通と防衛の要路で、天福3年(1233)には「名越坂」と呼ばれる道がありました。大規模な中世のやぐら群(まんだら堂やぐら群)や、大切岸(石切り場跡)などがあります。現在逗子市により整備が進められています。



名越切通



朝夷奈切通

## 武家館跡

### 15 北条氏常盤亭跡

北条氏一族の執権政村などの館跡と見られ、大仏切通の支配と防御の拠点と考えられています。発掘調査により建物跡の存在と武家文化の一端を示す遺物が確認され、鎌倉時代の武家の館跡の貴重な遺跡です。

## 港跡

### 16 和賀江嶋

北条泰時の助力によって建設され、鎌倉幕府の中国や国内各地との海上交通による交流の拠点となった港跡です。わが国で当時から現存する最古の築港遺跡です。



和賀江嶋

### 19 亀ヶ谷坂

扇ガ谷と山ノ内を結び、武蔵方面へも通じる重要な切通道で防衛拠点とも見られ、中世のやぐら群などがあります。現在も生活道路として利用されています。

### 20 仮粧坂

鎌倉から藤沢や武蔵方面へも通じる重要な道で、中世のやぐら群や大掘切などがあり、1333年(元弘3)の鎌倉攻めにあたっては鎌倉方の防衛の拠点となりました。

### 21 大仏切通

鎌倉から藤沢や京都方面へも通じる重要な切通道で、中世のやぐらなどがあり、狭く急峻な古道の様子がよく残されています。